



ふるさとの〇と×を探す!(3年環境フォトコンテスト)

6月8日(月)5/6校時の総合的な学習の時間に、3年陽翠学年が角館町内に繰り出し、第16回環境フォトコンテスト「わたしのまちの『〇』と『×』」に応募する写真撮影を行いました。

ふるさと角館町の中で、いつまでも残したい『〇』、とすぐにでも改善したい『×』の写真2枚1組に、その作品にコメントを添えて応募するフォトコンテストです。現在の『×』を『〇』に変えたいスポットと、このまま未来につなげたい『〇』のスポットの写真を、グループで協力して撮影しました。



写真撮影終了後は学級ごとに学校に帰り、教室内で写真を見合い、グループとして学年ホールに展示する写真を選ぶ作業をグループ全員で協力し行いました。

当日は晴天で気温も高く、大変暑かったのですが、これまでとは違った視点でふるさとを見つめ直すことができ、大変良い体験機会となりました。

3つのコースを全クラスが全て回るようにこのあと6月26日(金)ともう1日、合計3回実施する計画になっています。



学校花壇彩り鮮やかに!(整美委員花壇作業)

6月10日(水)放課後、全校の整美委員をはじめ、生活福祉部員、柔道部員のみなさんが、花壇の整備作業をしてくださいました。1階教室棟の南側前庭にある花壇に昨年度植えてあった花や根などを最初に撤去しました。次に肥料を入れてならすなどの土作りをしました。最後に、植えるところに移植ベラで穴を開け、今年の花の苗をきれいにそろえるように気を付けながら植えてくださいました。もうすでに咲いている花もありますが、元気に育ち、一斉にきれいに咲く日が楽しみです。整美委員、生活福祉部員、柔道部員のみなさんごくろうさまでした。協力ありがとうございました。



自分の未来のために日々の授業を大切に！

令和2年度県内公立高等学校入試一般選抜学力検査(3月5日実施)の分析結果が秋田県教育委員会高校教育課から発表されました。

5教科の平均は、500点満点で**282.3点**。前年に比べて、2.1点上がりました。100点換算では、**56.5点**で、前年度に比べて0.5点上がりました。教科ごとに見ますと、社会、英語で平均点が上がり、国語、数学、理科では平均点が下がりました。全教科を通して、基礎・基本を問う問題の正答率が高かったことから、日頃の学習の成果を発揮できたと分析しています。

出題は、新しい中学校学習指導要領の実施に伴う移行措置を踏まえて、各教科の目標、内容に即し、基礎的・基本的な事項及びそれらを活用して課題を解決することについて、学習の成果が多面的にしかもきめ細かに把握できる出題。また、一部の学習領域に偏らないように配慮するとともに、基礎的な知識及び技能に加えて、思考力、判断力、表現力等も把握できるよう配慮された問題が出題されました。

【過去3年間の公立高等学校入試平均点の推移】

	国語	社会	数学	理科	英語	5教科合計
R2年度	58.6	57.2	51.5	57.0	58.0	282.3
31年度	63.4	48.7	53.7	65.0	49.4	280.2
30年度	57.1	61.7	51.4	64.0	54.5	288.7

(全受検者の中から8%抽出)

令和2年度高校入試平均点 = **282.3点**

上記の表から、秋田県の公立高等学校に入学している平均的な力としては、ここ3年間を見ると、各教科において**56.7点以上**、5教科合計**284点以上の得点力**が必要なようです。更に、自分の将来の夢や希望を可能にする高校へ進むためには、あるいは、安心できる余裕ある高校入試にするためには、それ以上の力を身に付けなければならないということになります。近年、受検勉強は、「高校に入るため」ではなくて、高校に入ってから、小・中学校9年間で学んだことや身に付けた知識・技能を活用し、「更に高度な内容を学んだり、知識や技能を身に付けたり、高めたりするためのもの」であると、本校では生徒に指導してきています。ですから、中学校での学習に「これでよい」とか「分らないままにしておいてもよい」ということはないのです。間違った箇所や分らない部分を確認し理解して、しっかりと身に付けることは当然ながら、正解したから解ったと安心せず、何度も確認したり、より多くの応用問題や段階的に答えを求められる問題などに挑戦したりするなど、基礎学力の定着と活用する力、いわゆる世の中で求められている学力の向上に励んでいきましょう。

今後本校では、身に付けた知識・技能を活用する場面を授業の中に意識的に設けるとともに、言語活動の一層の充実を図った授業を展開していきます。授業を大切に3年間で、しっかりと力を付けるようがんばりましょう。